

うぶのひらはし
橋梁塗替工事(産の平橋)における

足場工新技術の活用促進 現場見学会のお知らせ

うぶのひらはしめりかえほかこうじ
令和5・6年度 産の平橋塗替外工事において、従来型のパイプ(単管)足場に代わりシステム足場等の新技術を採用しており、この新技術に関する現場見学会を開催する運びとなりましたので、お知らせします。

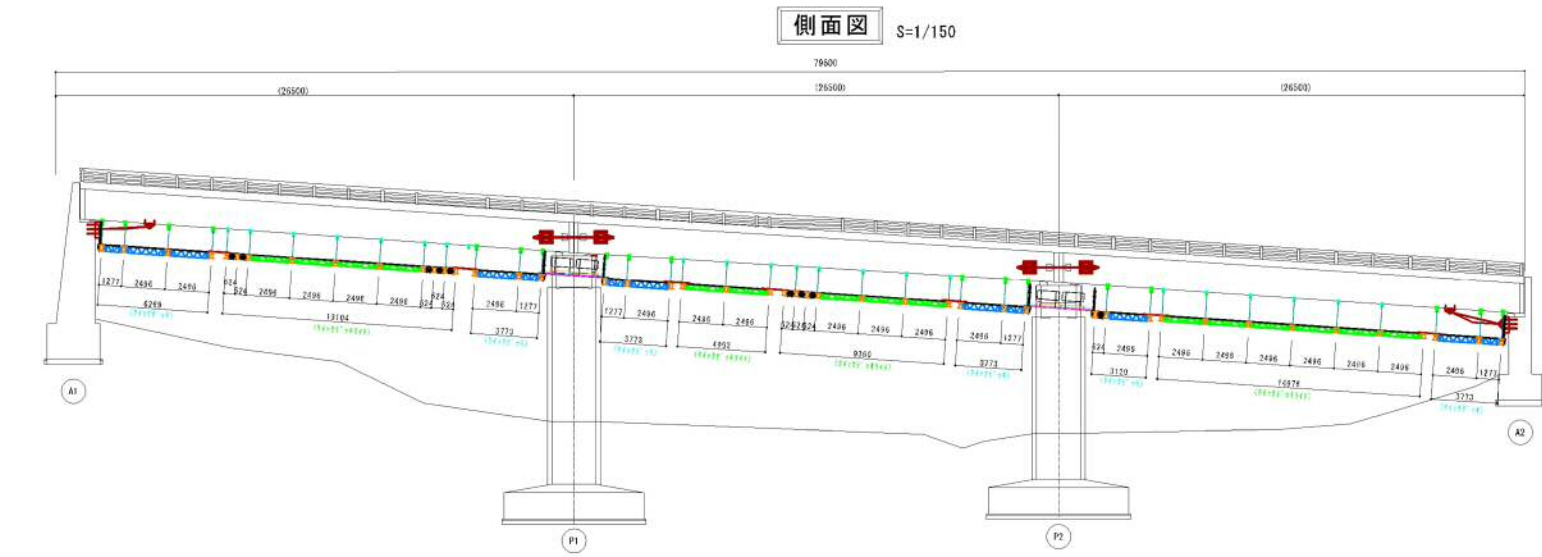
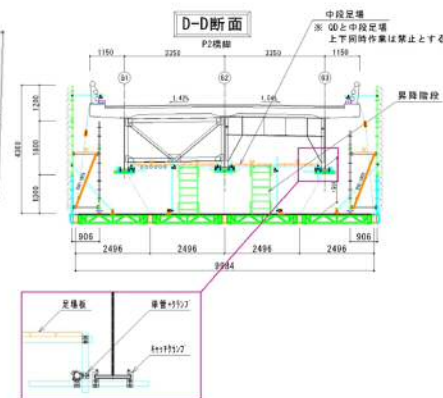
- 日 時: 令和6年 8月 5日(月) 10:30 ~
- 場 所: 工事概要説明(集合場所) ・受注業者現場事務所
(別紙-1 参照)
新技術の作業状況説明・見学 ・工事概要説明後に現地案内
(別紙-2 参照)
- 参加対象者: 参加対象者は熊本河川国道事務所、近隣自治体としており、別途参加のご案内をしています。

< お問い合わせ先 >
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所
総括保全対策官 古賀 尚永
道路管理第二課長 平野 智志 TEL 096-382-1215 (直通)
TEL 096-382-1111 (代表)

※閉庁時(17時15分~8時30分)は代表電話へご連絡をお願いします。







橋梁諸元	
橋梁名	産の平橋
路線名	一般国道57号
所在地	熊本県阿蘇市一の宮
橋梁形式	上部工 鋼単純合成鉄桁橋×3連
	下部工 逆T式橋台2基、T型橋脚柱円型(RC)2基
橋長	L=79.6m
幅員	W=9.80m
交通量	3,754台/日(令和3年度道路交通量センサス)
架設年次	1970年
適用示方書	昭和39年 鋼道路橋設計示方書

橋梁工事における新技術の足場の活用促進について

- 働き方改革を推進し担い手確保等を図るためには、現場の安全性向上や、施工性の向上などによる省人化を図ることが重要。
- 建設現場で一般的に用いられているパイプ(単管)足場は設置・撤去が容易で安価である反面、施工に熟練を要する。一方、近年は、一面の作業場を確保でき施工性などに優れたシステム足場などの新技術も開発されており、例えば高所で広範囲な施工を行う際に有効なケースがある。
- 令和5年度より、直轄の橋梁工事において、工事契約後に、受注者が現場状況を踏まえたうえで、従来型のパイプ足場にシステム足場等の新技術を加えて、コストのみでなく施工性、工期、安全対策の確実性などを総合的に比較検討したうえで足場工法を選定することを原則化する。

従来型のパイプ足場の一例



システム足場の一例

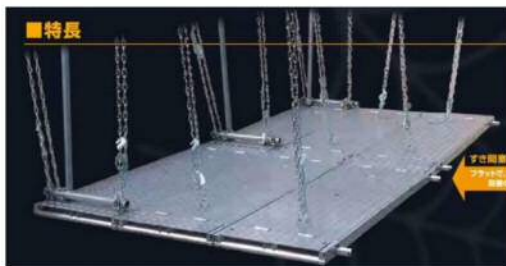


写真の出典：日本橋梁建設業協会資料

【参考】新技術の足場の事例

パネル式吊り棚足場(ネオベスパ・スパイダーパネル)

NETIS HK-160001-VE【活用促進技術】



VMAXシステムを用いたパネル式吊り足場

NETIS HK-130009-VE【活用促進技術】



今回産の平橋で採用した新技術

先行床施工式フロア型システム吊足場(クイック デッキ)

NETIS TH-150007-VE【準推奨技術・活用促進技術】



セーフティSK パネル

掲載終了(NETIS KT-100070-A)



写真の出典：日本橋梁建設業協会資料